

「橋下発言」西東京市議会とは容認?

5月下旬の「風俗活用」発言から、従軍慰安婦に関する一連の発言を受け、院内集会の実施等、多くの市民・団体が発言の撤回を求め行動を起こしています。板橋区議会では超党派の女性議員の連署で発言の撤回を求める要請書を橋下氏へ送付。他にも多数の議会で決議がなされるなどの動きがあることを知り、人権感覚を疑わざるを得ない「橋下発言」について、西東京市議会としても撤回を求め、決議すべきと考え提案しました。けれども、自民・公明・みんなの党・改革フォーラムの反対で決議の採択には至りませんでした。

大友かく子

子宮頸がんワクチン接種の積極的な勧奨の一時中止を受け、西東京市議会の判断は?

今年4月から定期接種化された子宮頸がんワクチン。これに先立ち、全国被害者連絡会が立ち上がり、重篤な副反応報告が相次ぐ現状を受け、6月14日厚生労働省は自治体による積極的な勧奨を見合わせることを決めました。これを受け、西東京市は直ちに医師会へ連絡をし、市ホームページから市民への周知にも取り組みました。インフルエンザや風疹のように空気感染するわけではなく、他の予防接種と比べて副反応の発生率の高い子宮頸がんワクチン

チンは、莫大な税金を投入して、優先して取り組むべきものとは言い難い事業と言わざるを得ず、十分な相談・救済体制を整えること、副反応事例も含め、丁寧な情報提供を実施すること等を求める意見書を提出しましたが、自民・公明・改革フォーラムの反対で不採択となりました。6月議会時点では、市内で重篤な副反応の事例は報告されていないことですが、全国的に、これ以上、被害者が増えないことを祈らずにはられません。

大友かく子



最後まで住み慣れた地域で暮らして続けるために

ケアラー(家族介護者)への支援を!

高齢になってからも障がいがあっても、住み慣れた地域で暮らし続けるためには、多くの場合、家族介護が必要となります。西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第5期)作成のための調査にある介護保険居宅サービス利用者調査によれば、家族介護者の平均年齢は64.9歳。一日の介護時間

は平均8.9時間にのぼり、介護に負担を感じている人は多く、三割を超える人が孤独を感じているとの報告があります。家族介護者はケアラーとも言われ、北海道の栗山町や杉並区阿佐ヶ谷、さいたま市では、モデル地区として日本ケアラー連盟が作成したケアラー手帳を通じて配布されています。西東京市では、ケアラー同士が集う介護者の会が、地域包括支援センターごとに開催されているとのこと、市民が行っている認知症の家族会もあるとのことでした。一方、杉並区阿佐ヶ谷では、ケアラーの居場所として、ケアラーズカフェがオープンしています。

ケアラーズカフェについては、市民の関心も高く市内でケアラーズカフェを始めたいと言う声も聞こえています。日常的に起こる介護の葛藤やストレスの解消策としての常設の居場所として、その役割が大きい期待されています。議会質問の際にはケアラーへの支援を強く求めました。今後は、今年度から始まる第六期の介護保険計画にも、孤立しているケアラーへの支援など、具体的に盛り込まれるものとなるよう要望していきます。



「一歩に地域開拓促進コーデイネーター」の配置が決定!!

障がい者雇用の促進に朗報



昨年(2012)の第3回定例会において、生活者ネットワークが指摘を要望を行っていた「地域開拓促進コーデイネーター」が障害者就業支援センター一歩に配置されることになりました。地域開拓促進コーデイネーターの役割は、「一般就労したい人を掘り起こす」「企業側に障害者雇用のアプローチをする」だけでなく「地域における障害者就業のネットワークを作っていく」「市内や周辺地域で障害者が一般就労していきける環境を更に整えて行く」とのことでした。

今年(2013)の4月から障がい者法定雇用率も民間企業は2%に、国・地方公共団体は2.3%に、都道府県等の教育委員会は2.2%に、引き上げになっています。また市内第一号の障害者就業移行支援事業所も4月にオープンしています。「保護から自立へ」の障害者総合支援法の下、一般就労を希望する障害者が一人でも多く就労されることと、一歩の人員増員により就労後のフォロー(定着支援)が充実されることを強く求めて行きます。

石田ひろこ

2013年当初予算評価と課題

●子どもの権利条例

「子どもの権利条例制定については、慎重に対応する必要があることから、施策の着実な実行により、子どもの権利の尊重・擁護を図ってまいります。」との答弁。子どもたちの環境は厳しさを増すばかり。施策の着実な実行はもとより、「子どもの権利」の正しい理解を進め、真に子どもの権利が尊重・擁護されるまちづくりが求められる。

●子宮頸がんワクチン接種

厚労省による、積極的な勧奨の見合わせへの迅速な対応は評価。今後の取り組みも注視していく必要がある。

●小規模小学校統廃合

意見交換会やアンケートなどの取り組みが始まっているが保護者の反応は大変厳しい。最も影響を被る子どもたちを真ん中に置いた取り組みが求められる。

●市民参加条例

新たな市民参加の手法の検討などは評価。より多様な市民の参加と意見の反映について、しくみの見直し、職員研修の充実に期待!

●学校プールの腰洗い槽

小学校19校、中学校9校のうち、いまだに使用を続けているのはわずか5校。必要性が十分説明できない腰洗い槽は廃止を!

●障害児等介助事業

ノーマライゼーションの推進には欠かせない事業。現状維持ではなく、当事者に寄り添った制度に見直しを!

●給食室の環境改善

エアコンもなく、過酷な環境の学校給食調理室。子どもたちの食の安全を一手に引き受ける調理員の安全の保証を!

●公共施設での石けんの使用

公共施設での使用について、一定の評価はできるが、一層の取り組みの強化、とりわけ子ども施設における石けんの使用の推進を!

★課題を指摘し、賛成した。

大友かく子の会計報告(2012.1.1~2012.12.31) (単位:円)

収入	議員報酬	9,324,180	支出	代理人活動費	2,800,000
	内訳	給与 557,000×12ヶ月		所得税・住民税	1,396,828
		期末手当 1,269,960 (6月)		保険・年金	759,740
		1,370,220 (12月)		退職金積立	120,000
	委員手当 など	31,428		繰越金	14,980
	利息	81		西東京ネット、東京ネットへの寄附	4,263,301
				その他	840
	収入合計	9,355,689		支出合計	9,355,689

*議員報酬は石田ひろこも同額ですが、所属委員会等により委員手当等が加算されるため議員報酬の総額は変わります。

*生活者ネットワークの代理人(議員)が在任中で受け取る議員活動費は議員月数×20万円と期末手当(1回20万円、年2回)です。

政務調査費内訳(2012年4月~2013年3月) ※3月からは政務活動費

項目	金額	内容
研究研修費	53,580	学習会等参加費、交通費
調査旅費	131,840	視察等
資料購入費	39,068	都政新報他
事務費	69,300	インターネット回線使用料
支出	393,788	

残額 86,212(市へ返還済み) (単位:円)

※市議会ホームページ、議会事務局で公開されています。